

青少年ふくしま

福島県青少年育成県民会議
第57号
平成30年1月30日(火)

新年明けましておめでとうございます。皆様お健やかに新春をお迎えのことと存じます。
福島県青少年育成県民会議では、次代を担う若者たちがその役割と責任を自覚し、心豊かに成長することを願い、県内各地の市町村民会議をはじめとする多くの皆様とともに青少年健全育成活動に取り組んで参りました。今年も引き続き、皆様の温かい御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

「第40回福島県青少年健全育成推進大会」開催 ～生かそう、きずな。未来のために！～

平成29年11月20日(月)、とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)小ホールにおいて「第40回福島県青少年健全育成推進大会」を開催いたしました。

開会に先立ち、「オープニングセレモニー」は、桜の聖母学院高等学校吹奏学部アンサンブルの皆さんによる演奏。若々しい繊細な響きがホールいっぱいに広がりました。

式典では、主催者あいさつ(畠利行副知事)に続いて、県内各地で青少年健全育成に御尽力くださいました個人や団体の皆様や、「家庭の日」作品コンクールで入賞された児童・生徒の皆様への表彰が行われました。受賞された皆様、本当におめでとうございます。

ご来賓の皆様(福島県議会議長様、福島県教育委員会教育長様、福島県警察本部長様)からの御祝辞に続き、「家庭の日作文コンクール」入賞者や「少年の主張福島県大会」最優秀受賞者による作文の朗読も行われ、会場からは大きな拍手が贈られました。

当日受賞された団体の名称や個人の御芳名は、次のとおりです。



① 福島県青少年健全育成条例に基づく知事表彰

○青少年団体の部

二本松柔道スポーツ少年団様(二本松市)
ボーイスカウト猪苗代第1団様(猪苗代町)

○青少年育成団体の部

熱海婦人会様(郡山市) 私設 柿の木文庫様(白河市)
いわき市青少年育成市民会議様 勿来地区推進協議会錦支部様(いわき市)

○青少年育成者の部

土屋宏美様(福島市) 松坂壽夫様(二本松市) 渡邊佳子様(郡山市) 齋藤伸行様(白河市)
後藤信雄様(会津若松市) 高橋正夫様(喜多方市) 坂本政男様(いわき市)



② 福島県青少年育成県民会議会長表彰

○青少年指導者の部

鈴木信常様(福島市) 河野政子様(福島市) 渡辺賢一様(伊達市) 佐々木宏文様(二本松市)
佐藤喜之様(郡山市) 斎藤吉男様(郡山市) 兵藤孝子様(須賀川市) 伊藤克一様(須賀川市)
片山昭三様(白河市) 安部かよ子様(白河市) 岡部良秀様(会津若松市) 物江智様(会津若松市)
橋本恵美様(喜多方市) 小林芳信様(喜多方市) 楠俊道様(猪苗代町) 小林恒雄様(会津美里町)
安良美佐子様(相馬市) 石田義広様(相馬市) 延原了英様(相馬市) 市川和子様

(南相馬市) 赤石澤啓雅様 (南相馬市)

○青少年団体・青少年育成団体の部

下川崎地区青少年健全育成推進会様 (福島市) 伊達市レクリエーション協会様 (伊達市)
開成ソフトボールスポーツ少年団様 (郡山市) 郡山北地区少年警察ボランティア協議会様 (郡山市)
八幡町子供育成会様 (須賀川市) お話ボランティア「夢工房」様 (平田村) 山都剣道スポーツ少年団様 (喜多方市) 猪苗代スカウト育成会様 (猪苗代町) 美里自然楽校様 (会津美里町)
ボーイスカウト福島連盟様 相馬第1団様 (相馬市) 浪江地区少年警察ボランティア協会様 (浪江町)

○青少年育成市町村民会議の部

磐梯町青少年健全育成町民会議様 (磐梯町)

○青少年健全育成功労者の部

木野田誠様 (福島市) 齋藤久夫様 (福島市) 八巻美代子様 (伊達市) 渡辺清司様 (郡山市)
佐川和男様 (埴町) 阿部國子様 (猪苗代町) 武島昭良様 (相馬市) 佐藤易孝様 (いわき市) 芳賀廉様 (いわき市)



4 独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長表彰

【努力賞】

「ハイタッチ」 佐久間桃さん (須賀川市立西袋中学校3年)

5 「家庭の日」作品コンクール知事表彰 (最優秀賞受賞者)



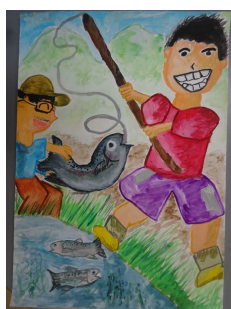
○【作文の部】

「家ていの日」 佐藤 初音さん (田村市立船引南小学校2年)
「うな重ファミリー」 片寄 太晴さん (玉川村立須釜小学校4年)
「大好きな家族」 先崎ナナ子さん (白河市立白河第三小学校6年)
「家族と農業の関わり」 澁谷 悠斗さん (玉川村立泉中学校2年)

○【絵画・ポスターの部】



「またつれていってね」
渡部 希空さん
会津若松市立湊小学校1年



「ニジマスつり」
長 謙吾さん
磐梯町立磐梯第一小学校4年



「みんなで皿あらい」
佐藤 萌香さん
三春町立岩江小学校6年



「このひと時を大切に」
澁谷 悠斗さん
いわき市立平第三中学校2年

※「家庭の日」作品コンクール最優秀作文・絵画・ポスターは「福島県青少年育成県民会議」のホームページで紹介しています。 HPアドレス <http://www.fukushima-youth.com/>

～ 子供・若者育成支援のための地域連携推進事業（中央研修会）に参加して～

内閣府主催により、平成29年11月27日（月）に国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された上記研修会での基調講演の一部を御紹介いたします。

《基調講演》

演題：「若者を孤立させない支援の取組～社会全体でのつながり、支える視点から～

講師：特定非営利活動法人 NPO スチューデント・サポート・フェイス代表理事

谷口 仁史 氏

- 「来ることを待つ」対策では、本来支援を必要としている若者にアプローチできていないのではないかと、（支援施設に足を運ぶこと自体に困難を抱えている子ども・若者の存在）
- 生育環境の問題の解消を含め、積極的かつ直接的な支援が必要なのではないかと、（いじめによる自殺、虐待による致死事件等に象徴される生育環境に困難を抱える子ども・若者の存在）
- 社会参加・自立まで責任を持って見届けられる体制が必要なのではないかと、（複数の公的支援を受けながらも自立が達成されない子ども・若者の存在）



既存の支援体制の限界を補い、分野横断的な対応を可能とする専門的支援
アウトリーチ（訪問支援）が必要とされる。

アウトリーチ導入に向けての留意すべき基礎的な考え方

1 節度ある「受容」

- ・ 誠意をもって「受け止める」→ 不適応要因の「追求」ではなく「配慮」が大切
（一番大切な親だからこそ話せないこともある。）
- ・ 極端な行動は避ける → 急激な変化をもたらす「負」の影響を知る。
（苦手意識やトラウマを強めることだけは避ける。）
- ・ 適切な時期に適切な方法で動き出す意識 → 「美談」や「根性論」にだまされない。
（何故、社会でひきこもりの高齢化問題が深刻化しているのか考える。）

2 積極的な待ちの姿勢

- ・ 環境の中で解決できる問題と向き合う → 「安全」「安心」の確保
（いじめ被害等を経験している場合は特に留意する。）
- ・ 保護者や家族だけで抱え込まない → バランスを保つための手段をもつ。
（保護者が抱え込み過ぎない。）
- ・ 本人が動き出す時のための「事前準備」 → 社会的自立に至るまでの多様な進路情報の獲得
（義務教育段階であっても大学、就職等、長期的な視点を持つ。）

3 「つながる」・「つなげる」力

- ・ 関係者との信頼関係の構築 → 一方的な批判、生産性のない対立構図には陥らない。
（相手に常識を振りかざし「すべて」の役割や「完璧」な対応を求め始めると関係性を崩す。）
- ・ 信頼できる専門家（支援策を含む）と「つながる」 → 具体的な対応方針と展望方針の共有
（専門家の責任ある言動を引き出し共有することも時には必要である。）
- ・ 必要に応じて他者に「つなげる」 → コーディネーターとしての役割の重要性
（目先の安心ではなく、将来につながる安心を考える。）

相談室対応とは異なるアウトリーチ現場の特殊性

1 困難事例が多い

- ・「最後の手段」としての利用
- ・複数の相談支援の支援の失敗を経験
- ・孤立状態の長期化による問題の深刻化、複合化
- ・トラウマなどによるメンタルヘルスの問題等

2 相談意欲が低い

- ・対人関係の苦手意識
- ・警戒心、恐怖心、無力感、絶望感
- ・学校不信
- ・社会不振
- ・人間不信等

3 関係性が複雑

- ・本人との関係性の構築の難しさ
- ・親や兄弟、友人など複数の人間との接触
- ・家族間との関係などへの配慮
- ・限られた人間関係の中での依存等

4 危険性が高い

- ・追い詰められた心理状態
- ・家庭内問題に関わるリスク
- ・自殺や暴力など自傷他害のリスク

従来の家庭訪問は、「単一機関や単一分野の知見に偏った支援」「個人の資質や経験、美談や根性論」に基づいた活動が多くみられ、失敗や2次被害を生む「危険性」があったが、アウトリーチ現場では、上記の特殊性から家庭訪問とは異なる専門性が必要となる。

基調講演の一部を御紹介いたしました。

座間市の事件は、SNS、ツイッターのつぶやき「死にたい」「辛い」等、苦しみから自分を救ってほしいという切実なメッセージであり、孤立している青少年を守るためにできることを我々大人は考えて行かなければなりません。そうしたことを可能とする手立ての一つが、上記で述べたアウトリーチ（訪問支援）の取り組みではないでしょうか。決して新しいことを行うのではなく、これまでの関わりを一歩進め、関わっている皆が情報を共有し、話し合い、それぞれの専門性を発揮することで、より客観的に支援することができ、親密な信頼関係に結びつき、孤立している青少年やその家族にとっては心強く感じることでと思います。

どんな境遇の子どもたちにも未来があります。一緒に家庭を変えるという攻めの姿勢をもち、子どもたち・保護者等と関わっていくことが大切なのではないでしょうか。 以上

【お知らせ】

「第4回ふくしま青少年育成セミナー～大人が変わるためのセミナー～」が下記の内容で実施されます。

🏆 日 時 平成30年2月17日（土） 13:00～14:45

🏆 講 師 原 隆弘（はら たかひろ）氏
福島ユナイテッド FC アカデミーダイレクター
清野 通仁（せいの みちひと）氏
福島ユナイテッド FC スクールマスター

🏆 会 場 福島県青少年会館 「第1研修室」

🏆 定 員 50名 参加費は無料です。

🏆 申込方法 2月14日（水）まで、FAX、電子メール、郵送または電話で受け付けます。

福島県青少年育成県民会議 〒960-8153 福島市黒岩字田部屋53-5

TEL 024-546-0002

FAX 024-546-8311

e-mail f-youth@io.ocn.ne.jp

※ 会場の無料駐車場（180台）をご利用ください。

